

# 鎌倉 ハートナズ



(桃花とふくら雀/西畑直樹)

鎌倉市市民活動センター 広報紙 第94号 令和2年3月発行(季刊)

発行/編集: 鎌倉市市民活動センター

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>

## リレートーク No.14

## こんな市民活動しています!

### ～自転車を通じて里山に親しむ～



きりやま だい  
桐山 大さん

里山 MTB みうら

<https://www.facebook.com/satoyamamtbiura>



リレートークとは: 鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思ひます。是非、お知らせください。

「里山 MTB みうら」はマウンテンバイク (MTB) のユーザーの団体です。MTB に限らずアウトドアのアクティビティは基本的に、フィールド (場所) である自然があつてこそ楽しめるものです。しかし利用するだけではフィールドは荒れてしまいます。里山という自然環境を良好に保つには継続的な整備活動が必要です。MTB もハイキングやランニングなどと同じ利用者の一員として里山の維持保全に関わつていければと、まずは一個人の立場で2013年から逗子葉山で活動する里山保全団体に参加しました。そこから逗子葉山だけでなく鎌倉など三浦半島の他の里山保全団体にも参加するようになり、2019年から里山 MTB みうらとして活動するようになりました。

里山の整備活動では、その地域で活動する里山保全団体があればそこへ参加や協力をして、一緒に活動するようになっています。MTB 以外の皆さんと話し合いながら協働することで、MTB という存在を知ってもらい、良好な関係を創つていきたいとの想いからです。わたしたちで独自に整備する場合には、行政や地権者など地域の皆さんと話し合い、さまざまな面から間違いのない活動となるよう心掛けています。三浦半島に限らず里山は、MTB 以外にも様々な形で楽しむ人たちが居る場所ですから、他の利用者との共存を考えた、配慮や注意が必要です。しかし、それを補つても余りある魅力を持つのがみうらの里山だとも考えています。

地域の皆さんと話し合いながらの里山整備の参加や実施と、MTB ユーザーに対する啓発。この二つを基本的な方針として、またわたしたち自身も MTB ユーザーであり趣味として楽しむ者でもあるので自ら楽しむことも忘れずに、活動を継続していきたいと考えています。

(4 ページの新規登録団体のご紹介もご覧ください)

## 誌上講座「団体資金の考え方と助成金の活用」

センターが3月14日に予定していた、講座「団体資金の考え方と助成金の活用」は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、やむなく開催中止としましたが、その代りとして講座でお伝えする予定であった助成金とクラウドファンディングの事例をここで紹介します。

昨年鎌倉市がおこなった市民活動に関するアンケートでは現状の課題として「人材不足」の次に挙げられたのが「活動資金の調達」でした。団体資金の種類には、会費、寄付金、事業収益、助成金、補助金、借入金がありますが、中でも助成金は種々様々な種類があり、その傾向と対策を知ることによって資金調達のチャンスを得ることができます。

### 審査する立場から見た、助成したくなる事業とは・・・

今回予定していた講師の竹山吾紀明さん（日本郵便株式会社 年賀寄付金担当）から提供された資料に基づき、助成する立場から見た審査のポイントと申請書作成のポイントをまとめました。

#### ■ 申請の前に、団体内で考え方を整理しておきましょう

- ① 助成する側と助成先団体はパートナーです
- ② 団体の経常業務、管理費的な資金は助成の対象外です
- ③ 助成金による社会的なインパクト（効果）を重視します

#### ■ 審査する側が申請事業に期待することは次のような点です

- ① 先駆性が高く発展性のある事業
- ② 社会的ニーズとその社会的波及効果の高い事業
- ③ 事業計画が明確で、実現性が高い事業
- ④ 緊急性の高い事業

#### ■ 申請書を作成する際は次のような点に注意しましょう

- ① 誰にでもわかる表現で
- ② 要点は簡潔、実施内容は明確に
- ③ 申請事業の先駆性、社会性、実現性、緊急性をアピール
- ④ 明確な成果目標を具体的な数値で記載
- ⑤ 事業内容、スケジュール、予算が連動していること
- ⑥ 予算の算出根拠は詳細に
- ⑦ 申請前の最終確認を複数人でチェックする



具体的に事業計画を立て、以上のような考え方を団体内で共有し、助成金獲得にチャレンジしてみることをお勧めします。センターでは様々な助成金の募集情報をホームページ等で紹介し、申請時のご相談にも応じています。お気軽にお問い合わせください。今回ご紹介する予定だった「日本郵便年賀寄付金配分事業」は毎年9月から11月にかけて公募があります。年賀寄付金事務局では事前の相談も受付けています。



資金調達の方法として最近注目されているのが「クラウドファンディング」です。クラウドファンディング（crowdfunding）とは群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語で、インターネットを通して自分の活動や計画を発信し、それに共感した人や支援したいと思ってくれる人から資金を募るしくみです。今回は、昨年クラウドファンディングを使って、見事に目標額を達成した「ぐるうぷ未来」の橋本等さんにお話をうかがいました。

### お金だけでなく、人とのつながりや活動の広がりがでてくるのです・・・

#### ■ 「ぐるうぷ未来」の活動を教えてください

子どもたちの未来を安全で平和なものにしていくための活動をしています。福島第一原発の事故後の放射能汚染、それによる甲状腺がんのリスクについて勉強しました。そして安定ヨウ素剤を飲むことで予防に効果があることがわかり、一人でも多くの子どもにこれを配布したい、と考えて配布会の開催や冊子の作成をしています。

#### ■ クラウドファンディングの目的は何ですか

2018年に安定ヨウ素剤の配布を行いました。2018年に安定ヨウ素剤の配布を行いました。2018年に安定ヨウ素剤に対する認識、知識が低いのを実感しました。そのため単に資金調達を目的とするのではなく、全国的にヨウ素剤の告知、啓蒙活動をしながら2回目の配布会の資金づくりもしよう、と考え映画監督の鎌仲ひとみさんにも協力していただきクラウドファンディングを立ち上げました。

#### ■ 目標額の設定、その結果はいかがでしたか

本当はホームページや冊子の作成、配布会の経費も含めて80万円は欲しかったのですが、詳細な見積もりで検討して目標額は60万円に決めました。結果的には9月～11月までの2か月間で75万円集まりました。閲覧者は2000人近くを数え、メールをくださった方には全て返事もしてそれを公開もしました。そうすることで支援者との信頼関係もできました。

資金を集めるのも大事でしたが、支援者とのつながりで、色々な声が聴けたことも有意義でした。情報を発信すると反応があり、人とながつながっていくということはとても楽しいことですね。



#### ■ 実際に立ち上げてみての感想は？

「レディーフォー」というクラウドファンディングを利用しました。初めての経験なので手探り状態から始めましたが、まず立ち上げるには見てくれる人が共感し説得できるだけの裏付けが必要なことを知りました。正確なデータ、数値の出所、根拠など、社会的信用が問われるので検証をしっかりと、責任をもって発信することが必要なことがわかり、自分たちもとても勉強になりました。それと事前の告知は大切ですね。鎌仲さんのフォロワーが1万人ということで、そういうネットワークの力も大きかったと思います。

#### ■ クラウドファンディングを考えている方へアドバイスがあったらお願いします

わからないことだらけで始めたのですが、一度経験すると勘所が掴めます。周りを探すと、これはこの人に、こっちはこの人に、という具合に頼れる人、助けてくれる人が現れるものです。そういう色々な方と協力しながら知恵を出し合っていくと展望も開けます。いざ立ち上げるとそれに向かっての結束も生まれるし、広がりも増え、支援や賛同を得られると活動にやりがいを感じるようになります。お金のことだけでなく、様々なメリットがあるので、機会があったら、是非挑戦してみてください。

## センターからのお知らせ

### 利用登録団体懇話会を開催しました

1月25日(土) たまなわ交流センターで本年度第3回の懇話会を行いました。今回は主に里山の保全をテーマとし、特に昨年の台風による被害状況の報告と善後策について活発な意見交換が行われました。団体間の情報共有とネットワークの必要性をあらためて感じる会合となりました。地球の楽校の長谷川さんから「森のくるまぎフォーラム」開催の提唱がありましたが、残念ながら延期となりました。

### つながる鎌倉条例の指針にご意見を

昨年1月に市民活動を推進するための「つながる鎌倉条例」が施行され、その後、条例の付属機関である市民活動推進委員会等で議論を重ねてきました。このほど条例の具体的な施策の方向性や考え方を示す「指針素案」がまとまり、意見募集を開始しました。この素案には市の重点施策や優先順位についての記述があり、みなさまの活動に直接かかわるものです。鎌倉市のホームページからアクセスするか、センターにも意見用紙と指針素案が備え付けてありますので、忌憚のないご意見をお寄せください。締め切りは4月17日(金)です。

### 相互提案協働事業の相談開始です

例年5月～6月にかけて募集する「市民活動団体と市による相互提案協働事業」ですが、今年からスケジュールをあらため、3月～6月を事前相談期間とし、この間に説明会、相談会等も行います。応募を検討している団体は、提案書類の提出前にまず調整シートに事業の概要を記入して、鎌倉センター及び地域のつながり課にご相談ください。「事業の手引き」は鎌倉・大船の両センターおよび地域のつながり課に用意してありますので、お持ちください。締め切りは7月10日(金)です。

編集後記：世界中に拡散するウィルスで重苦しい春を迎えました。小中学校の休校、海外の出入国者の制限、イベントの中止、自粛。人の流れも物の流れも止まり、この先にどんなことが待っているのか不安はつのるばかりです。慎重論、楽観論、見方も色々です。自分の置かれた状況の中で何をしたらよいか、何ができるのかを試されているような気もします。途方に暮れることがあったら、空を見上げてみましょう。物の流れが減った分、いつもよりきれいな空が見えるはず。きっと乗り越えられると信じて。(麻)

### 新規登録団体のご紹介

(令和2年2月末日現在)

#### ★ NPO 法人日本エコロジーアップサイクル協会

プラ袋、紙袋から財布、名刺入れ、手帳型スマホカバー等の実用小物をアップサイクルする事で、プラごみ、紙ゴミを減らす活動を行っています。アップサイクルできる人を増やす為、認定講師制度を整備して講師の育成を行っています。認定講師になって頂いた方は当協会主催のワークショップでご活躍頂きます。<http://euaj.org>

#### ★ 里山MTBみうら

マウンテンバイク(MTB)等の里山や山道を楽しむための自転車を通じて、鎌倉やその他の三浦半島地域の里山自然に親しみ、それを維持保全する活動をしています。里山の維持整備活動の実施や参加の他に、ハイキングやトレイルランニングといった同じ里山をフィールドとして楽しむ他のアクティビティとの共存を目指して、MTBで里山を利用する際のマナーの啓発もおこなっています。

#### ★ 公的年金提言研究会

公的年金の在り方について、

①行政に対する提言・提案②マスコミをはじめとする広報メディアに対する寄稿・投稿③地域・企業・市民団体等での講演会・セミナー・相談会の開催などを行っています。

#### ★ Tea time

会員個々の朗読表現力の習得と向上を目指し学習をしています。習得した朗読表現を使い、市内、県内の文化活動等に積極的に参加します。朗読と音楽及び映像を融合させた表現方法の確立を推進し社会貢献活動に役立てていきます。

#### ★ 鎌倉ウェルカムガイド

鎌倉を訪れる外国人に、心のこもった「おもてなし」と奉仕精神で、鎌倉に残る多くの歴史的遺産や鎌倉の魅力を伝えることのできる観光ガイドとしての役割を担うとともに、会員相互の情報交換に努め、ガイド資質の向上と他団体とのネットワーク化を図り、鎌倉における国際観光振興の推進に寄与する活動をします。

#### NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町18-10  
TEL: 0467-60-4555  
FAX: 0467-61-3928  
E-mail: npo@chive.ocn.ne.jp

#### NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台1-2-25  
(たまなわ交流センター1階)  
TEL/FAX: 0467-42-0345  
E-mail: npo2@abelia.ocn.ne.jp

令和2年3月22日現在 **利用登録団体数: 392 団体**

※ 利用登録団体の登録内容(連絡先・代表者・活動内容等)に変更があった場合は、速やかにお知らせください。